



[果樹部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

### 3. Y字形に仕立てたモモの密植低樹高栽培法のマニュアルの作成

[要約]

Y字形仕立てによるモモの密植低樹高栽培法を導入するための、栽培マニュアルを作成した。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 果樹研究室

[連絡先] 電話 086-955-0276

[分類] 技術

[背景・ねらい]

低樹高化による軽労化を目指したY字形仕立てによる密植低樹高栽培では、慣行の開心自然形に仕立てた樹と比べて、果実品質に大差がなく、早期多収及び軽労化が可能であることを明らかにした。一方、開心自然形の栽培管理とは異なる部分も多く、現地での指導に活用可能な資料が求められる。そこで、Y字形仕立てによる密植低樹高栽培法を用いた若木期の栽培管理方法の要点をまとめたマニュアルを作成する。

[成果の内容・特徴]

1. マニュアルは、Y字形に仕立てた「清水白桃」について、年次ごとの栽培管理方法をグラフや表、実際の管理作業の写真などを用いてまとめた資料である（図1）。
2. 本栽培法では、慣行の開心自然形仕立てと比較すると、5年生までの10a当たり収量が1.46～1.6倍である。一方で、作業時間は1.2～1.3倍程度の増加で、生産性は1.2倍程度であった。
3. 経営指導指標の所得率から試算を行うと、本栽培法は若木期の5年間で10a当たり35～47万円程度の増収が見込まれる。

[成果の活用面・留意点]

1. マニュアルに記載されたデータは、農業研究所果樹研究室のモモ圃場（樹園地）で栽培された樹における調査結果を基にとりまとめたものがある。
2. 本マニュアルは「清水白桃」での結果を取りまとめたものであるが、他の主要品種についても適用可能である。
3. 本マニュアルをもとに、水田転換園においても活用可能かどうかを判定するため、現地実証を開始している。
4. 作成したマニュアルは、県内の普及指導センター向けに公開予定である。



[具体的データ]



図1 作成したマニュアル

[その他]

研究課題名：新樹形によるモモ低樹高・軽労化栽培技術の開発

予算区分・研究期間：県単・令2～6年度

研究担当者：佐々木郁哉、荒木有朋、樋野友之、河村美菜子、鶴木悠治郎、吉村諒介

関連情報：1) 試験研究主要成果：[平29\(11-12\)](#)、[令元\(13-14\)](#)、[令2\(15-16\)](#)